

## 株式会社 IMAGICA TV 番組審議会議事録 2014年1月24日開催分

- 開催日： 2014年1月24日(金) 11:00～13:00
- 開催場所： 株式会社 IMAGICA TV 会議室
- 委員の出席： 委員の総数 8名  
出席委員数 7名
- 出席者： 審議員：池ノ辺直子、川上エリカ、草場滋、高寺重徳、立川談慶、  
富澤一誠、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）  
事業者：木戸英晶、伊藤明、栗林絹江、清正徹、井田勇、野村憲一、  
齋宏伸（記）
- 審議： 「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

■ 「イマジカ BS」の編成及び、『映画監督・山崎貴が選ぶ「永遠の名画たち」』について、各委員から以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 『映画監督・山崎貴が選ぶ「永遠の名画たち」』は、いい企画だと思うが、全体的にかたい感じだったので、作品の裏話などを含めて、監督の人柄などをもっと出してもいいと思った。取り上げた作品でも「ノーウィング」とかに興味をもったし、対談とかでもっと引き出せたら良かったと思う。  
監督とかに出演してもらって、その方の人間性などに触れるのは、フィルターやナビゲーターとなるし、作品に興味を持ってもらうために有効だと感じた。
- ・ 作り手が、インスピレーションを得たり学んだりしたことを、自分の作品へ活かしていくというリスペクトを強く感じた。独自の視点や、あるシーンからヒントを得たといった話は、評論家とは異なる作り手としての意見であり興味深い。シリーズ化してもいい企画だと思う。
- ・ 洋画の公開作や監督インタビューとの連動などがあっても面白いと感じたし、映画のファクターと公開作品をリンクさせた番組構成も良かった。
- ・ ナビゲーターとなる番組で、制作に関わる人が出てくる番組はすごくいいなと感じた。（この企画を共同で行った）グループ企業のロボットは若いスタッフが映画作りに関わっているので、そういう若いスタッフの「あのシーン」等々といった、映画に関わる話を出していくのも面白いのではないかな。
- ・ 洋画は厳しい状況が続いていて、若い人の洋画離れが顕著。例えば、70年代や80年代の傑作や大ヒット作品と言われるものでも知らないことも多い。字幕も、文字と映像を見ながら楽しむという訓練が必要なものだし、役者の魅力が伝わ

りにくくなっているとも言われている。その中で、何をしていくのが重要。

- ・ 映画作品の公開に合わせてオンエア日が設定されていたが、週末に家でゆっくり見ることができる時間に、リピートがあっても良かったのではないかな。
- ・ 番組の構成で、途中で公開作品の CM を挟んでいたが、ここはない方が良かったと思う、その方が視聴者に素直に番組を見てもらえたのではないだろうか。

■ 「歌謡ポップスチャンネル」オリジナル番組「中山秀征の有楽町で逢いましょう。#82」と「藤井隆の胸キュンアイドル天国#3」について、各委員から以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 「中山秀征の有楽町で逢いましょう。」は司会の中山秀征の司会のうまさや、観客とのやり取りやファンサービスを含めた臨場感もあり、良い番組になっている。
- ・ 「中山秀征の有楽町で逢いましょう。」は安心感のある番組。会場からの質問などもアットホームな感じ。他で聴けないことを引き続き見せてもらいたい。
- ・ 「藤井隆の胸キュンアイドル天国」では当時の映像などが無いと番組としてはかなり難しい。映像が難しければ資料を工夫することが重要。新番組なので、今後のバージョンアップに期待したい。
- ・ やらうとしていることはいいと思う。アイドルやそれを支えた方々へのリスペクトがある。見せ方にはもっと努力が必要だし、もっと詳しい話が聞きたい。取材が浅いと感じた。時代を作ってきた人の話をきちんと聞きたい。
- ・ エンタテインメント業界の人たちが面白いと感じるものにしてもらいたい。志はいいと思うので、伝える努力が必要。
- ・ 地上波の連続ドラマのヒットもあったなかでの番組で、いい企画だと思う。作り手のとしての話を主軸として、ゲストの特徴を活かしてもっとバラエティの要素があっても良かったと思うし、ここでしか見れない映像をもっと出してほしかった。振付の方なので、姿勢や立ち姿、ライブ感などと人柄とのギャップなど、工夫できるところがもっとあったと思う。
- ・ 情報にいかにか付加価値をつけていけるのか？を考えてもらいたい。そうすることで、興味や関心を高めていくことができる。
- ・ 「アイドル天国」というタイトルに関しては、見て勉強になるような印象をもったので、ギャップを感じた。

報告事項：当社社長及び当社編成・制作局長より、2014年5月末における歌謡ポップスチャンネルの番組供給事業者化について、現状や見込み等について説明を行った。

2013年10月～12月における「イマジカBS」、「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成・制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

連絡事項：次回番組審議会は、2014年4月25日開催予定。